

(1) 組合だより

# 組合だより

発行所 中標津農業協同組合・中標津町農業共済組合

発行 昭和48年1月15日 新春号・印刷 有限会社 板野印刷



1973

謹賀新年

昭和48年

中標津町農業共済組合

組合長理事 正城 武

外 役職員一同

中標津農業協同組合

組合長理事 見玉光彦

外 役職員一同

# 新春

1973

## 中標津農業協同組合

### 組合長理事 児玉光彦



明けましておめでとうございます。

行なわれ、農業問題のみならず激動の年でありました。

組合員の皆様には、御健勝にて希望に輝く、一九七三年の新春を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、田の切り上げ問題、中

共問題等、また、年末には「日本列島改造」が合言葉で、総選挙が

本組合においても、組合の大事業と思われる、澱粉工場の移転新築、集送乳合理化による、バルククーラーの導入等、組合員の御協力により実現してまいりました。本年は、農協内部を新しい機構と人事異動を行い、第一歩を踏み

## 年頭にあたり

組合員の皆様明けましておめでとうございます。

この輝かしい一九七三年の新春を皆様におかれましては、新たな抱負に胸ふくらませて、迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年は春先の天候が思わしくなく、私たち一同心配致しましたが、夏から秋へと非常な好天

にめぐまれ、よい実りの秋を迎え得ましたことはご同慶にたえませ

ん。しかし、田切り上げ問題、日中問題、列島改造論による総選挙と、昨年の情勢は大きくゆれ動きげだし農業界にとつてもきびしいものがございました。

当組合も、昨年は掛金率の改訂期を迎えまして、その率による結

## 中標津町農業共済組合

### 組合長理事 正城武



出し、内外共に激動する農業諸問題に取り組む所存でありますので組合員皆様の、積極的な御協力をお願い申し上げます。

最後に、組合員各位と御家族の御健勝と御多幸を心よりお祈り申し上げます年頭のご挨拶といたします



果も、今年度末に出ようとしていますが、幸い引受頭数等の実績では、皆様の絶大なご協力を得まして、好成績をみる見込みとなっていること感謝申し上げます。

病傷事故等についての詳細結果はまだ出ていませんが、酪農経営の一助として、今後もより一層の努力をかたむけてまいりたいと思

いますので、本年も相変らずのご指導賜らんことをお願い申し上げます。最後に皆様の御健勝とご多幸をお祈り申し上げます、挨拶と致します。



☆皆さん、明けましておめでとうございます。[組合だより]

新春号をおとげ致します。暖冬といわれる本年の出版、暖春、春夏、暖秋とす、んで、より実りのある一年でありたいと願わずには

いられません。☆さて、新春号の内容ですが、年頭の辞は、それぞれ農協、共済の両組合長にお願いしました。

☆三面には、中標津農協の改定を加えた機構と人員の配置のせました。今後この態勢で、皆様のご期待にそうよう努力していきたいので、皆様のより一層のご協力をお願い申し上げます。

☆共済組合の関係では、今年度の牛馬の引受実績がほぼまとまったということ、前年度と対比しながらのせています。頭数のびの頭打ちがいわれていますが、皆様の協力で、好い数字になっていますこと感謝致します。

☆「組合だより」も今回で四号目を迎えました。今後より一層皆様のご期待にそえるよう努力してまいりたいので、ご意見、ご感想をどしどし、編集係の方へ寄せて下さいますようお願い申し上げます。

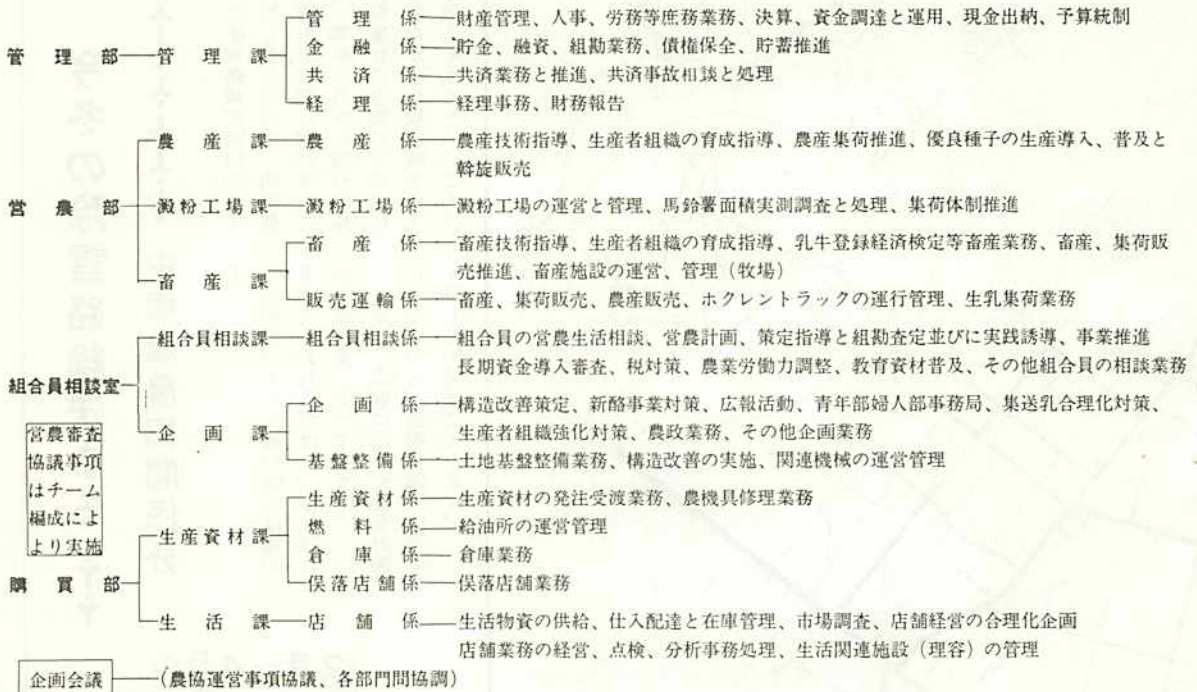
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

( 3 ) 組 合 だ よ り

機 構 の 業 務 分 掌

昭 和 48 年 1 月 1 日 改 定

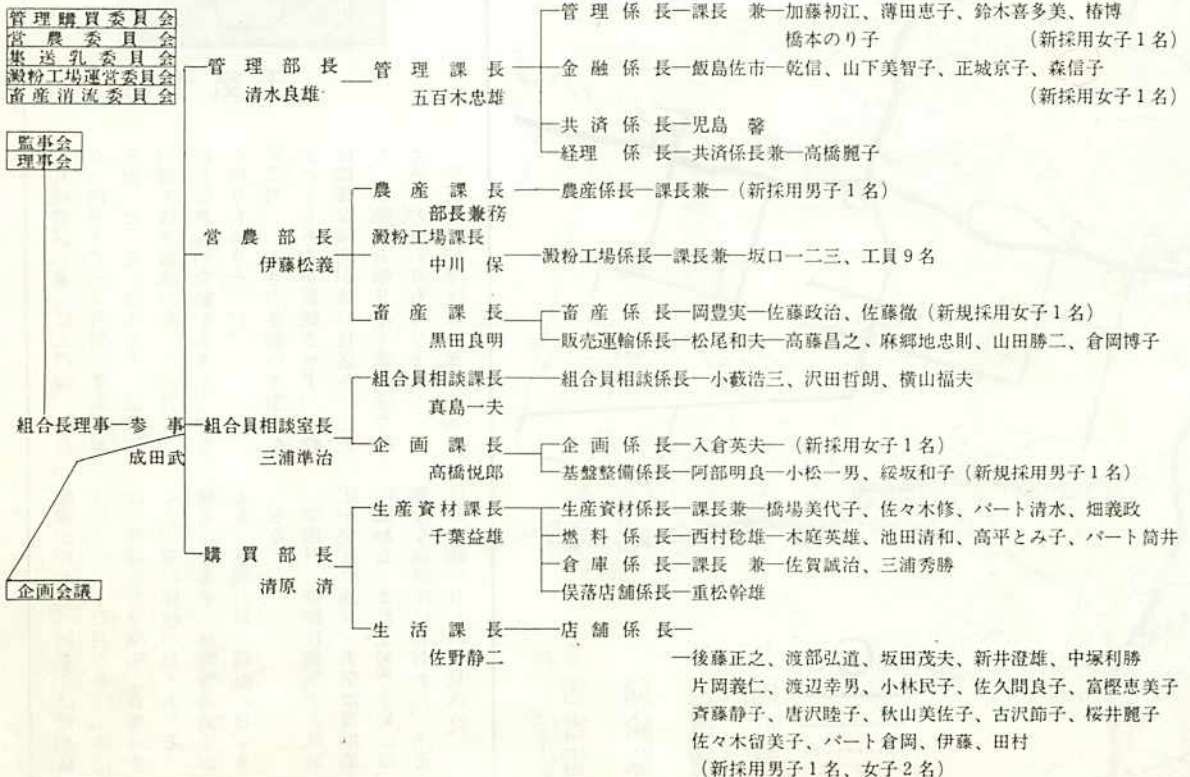
中 標 津 農 業 協 同 組 合



営 農 審 査 協 議 事 項 は チーム 編 成 に よ り 実 施

中 標 津 農 協 業 務 機 構 図

昭 和 48 年 1 月 1 日 発 令



# 今冬の除雪路線決まる

札幌農協関係分

今年の除雪路線が別図の通り

決定いたしましたので、関係各位の御協力をお願い致します。

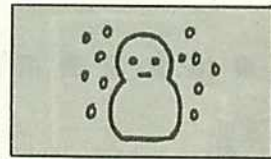
なお、本年二月から四月の札幌管区気象台の子報を下の方に

す。

しかし、とかく暖い時には雪が多いといわれるだけに、心配されるむきも多くなってきました。

しかし、左図に示した除雪計画にもとづいて、道路の確保に万全を期したいと考えております。

2月～4月の



## 天気予報

札幌管区気象台はこの程、二月から四月まで三ヶ月間の季節予報を出した。それによると、二月は引続き暖冬気味だが、春三月、四月は寒暖の変動が大きく、寒さの戻りもありそうだ。

▽二月 ときどき弱い冬型になることもあるが長続きせず、一般に温暖な傾向が強い見込み。しかし、大陸から張り出す高気圧で冷え込みの強い日もありそう。

▽三月 前半は弱い冬型の気圧

配置が現われ、西部では雪が降りやすい。また月なかばころには、発達した低気圧が日本海を北上、荒れ模様の日もありその後半になると、移動性高気圧がときどき現われ、暖かい日が多くなる。

▽四月 移動性高気圧と低気圧が交互に通る、天気は周期的に変わる。また上旬や下旬には、寒冷な高気圧におおわれ、冷え込みの強い日もある見込み。



除雪  
道  
七国町私  
セ

昭和47年度  
除雪センター長  
名簿

開陽地区	上武佐地区	北武佐地区	南中地区	俵中地区	共成地区	依橋地区	地区
玉沢正春	吉田徳一郎	秋山実太	吉川晴久	水本一三	沢渡定良	久本一雄	氏名
二一六三六三	二一五一六七	二一六三三二	二一八三〇八	二一五二九二	二一五二三三	二一五二〇二	電話番号
玉沢	大島商会	大島商会	鎌田建設	鎌田建設	上田組	上田組	業者名
二一六三六三	二一三一四	二一三一四	二一三一四八	二一三一四八	川北	川北	電話
新生地区	俣落地区	第二俣落地区	当幌地区	豊岡地区	協和地区	開陽地区	地区
田代昭	服部一好	佐伯柁次	鈴木吉三	佐藤末美	林仁一郎	高平幸太郎	氏名
二一七二八八	二一七二六八	二一七三〇七	二一八二四一	二一八一七八	二一八三〇二	二一六三二六	電話番号
釧根	農協	生産連	生産連	渡辺	北川	久保重機	業者名
二一三二八五	二一三二七五	二一三二六四	二一三二六四	二一三五七五	二一三四四〇	二一三四四五	電話

除雪路線計画図

中標津農業協同組合分



「酪農家に手痛い」

配合飼料の値上げ

酪農家にとって丑年の今年、

何か明るい期待を持って新年を迎へ、お屠蘇気分もさめやらぬ矢先、

配合飼料の大幅値上げという「とんでもない」お年玉を無理やり懐中に入れられて仕舞った。

さてその値上げの原因と、今後の見通し、そして新供給価格をお知らせ致します。

先ず値上げの大きな原因として(一)ソ連、中国等共産圏のアメリカ、カナダからのトウモロコシ、小麦大麦の大量買付、(二)米国等原料主産地の不作等によるマイロ・トウモロコシ、大豆粕の産地相場の高騰加えて船運賃も高騰(共産圏への穀物輸送で配船難)(昨年四月トシ当り四ドルが現状九ドル)しており、配合飼料のコストの九〇%余りを占める原料の値上げが、そのま、製品コストの大幅引上げの原因と云うことです。

従って今後の見通しについては明る材料は全く見当らず、当分の高値は続くものと予想される。農協では一月十二日の理事会で三月末日迄の供給価格を左記の通り了承しました。

記

一、値上げ実施期日、一月二十一日。

二、値上げ高(ホクレン・雪印)

乳牛用、育生用二〇キロ当値上高五〇円安定基金補てん分二二円

差引実貨値上高二八円

肉牛肥育用二〇キロ当値上高四八円安定基金補てん分二二円差引

実貨値上高二六円

鶏用幼中成鶏用二〇キロ当七六円安定基金補てん分二二円差引実

貨値上高五四円。

高明治、日甜その他のメーカー

の値上げ額についてはホクレン、雪印同様近日中に決定されるが、

飼料の効率的な投資についてはお互い研究していきたいものです。



今春のとりまとめについては  
 一 高承のとおり昨今の諸物価の  
 いちじるしい高騰は憂慮される  
 べきものであります、真に消  
 費者サイドに立脚した系統購買  
 の有利性を最大限に發揮するた  
 め、作業被服を主体に二月八日  
 九日の二日間農協会議室にお  
 いて、見本品を展示し予約とり  
 まどめを実施致しますので多数  
 の御来組をお願い致します。

43年春季衣料品

取りまとめ



対象品目

一 活動的機能性豊かなワーク  
 ウエア

ストレッツ

ストレッツツートンコート

ストレッツジャンパー

ストレッツ紳士オープン

モヘア紳士オープン

モヘア紳士ズボン

PPジャンパー

PP平ズボン

ストレッツチオープン

作業シャツ

軽快ズボン

紳士ボロセーター

紳士ハイネックセーター

カジュアルジャンパー

カジュアルスラックス

紳士ヤンキー

続服(オーバーホール)

雷光ジャンパー

雷光ズボン

二、あなた以上のあなたを創るト  
 ータルファッション

婦人ハイネックセーター

シルキーブラウス

婦人ブラウス

キツチンドレス

ホームスラックス

ジャージモントロン

綿入コート



婦人ブラウス

半袖ブラウス

婦人パンツロン

婦人ヤンキー

スカート

ホームスラックス

婦人スラックス

キツチンウエア

紳上衣

紳モンペ

ブラウス

モンペ

ヒモ付モンペ

ジャンパースカート

婦人ジャンパー

三、大地と対話する中児

ウモア・シリーズ

中子ジャンパー

学生パンツロン

ストレッツチ男児ズボン

家畜共済加入実績

48. 1. 25

47年度実績予想				46年度実績			
中標津		(牛)だけ		牛		馬	
	牛	馬	増	減			
戸数	367	36	△	6千	戸数	373	79
共済額	1,118,660千	4,470千	178,330		価額	1,020,330千	8,010千
頭数	8,862	42	781千		頭数	8,081	88
共済額均額	362,031千	1,549千	54,754		金額	307,237千	2,423
平均均額	135,250	106,428	8,988		平均価額	126,262	91,022
平均金額	40,852	36,880	2,833		平均金額	38,019	27,534
一戸平均加入	24.1				一戸平均加入	21.6	
計根別							
	牛	馬			牛	馬	
戸数	281	9	△	2	戸数	283	35
共済額	1,017,720千	1,020千	156,680千		共済額	861,040千	3,950千
頭数	8,736	9	499		頭数	8,237	35
共済額均額	305,476	306	47,164千		共済額均額	258,312千	1,185千
平均均額	116,497	113,333	11,964		平均均額	104,533	112,857
平均金額	34,967	34,000	3,608		平均金額	31,359	33,857
一戸平均加入	31.0				一戸平均加入	29.1	
計	17,598	51			計	16,318	123
47年一戸平均	27.1				47年一戸平均	24.8	

中標津町農業共済組合の昭和四十七年度の加入実績が、もとより前年度対比で、牛馬合わせて七・三%の伸びをみせた。

例年引受は一月の加入を最終として、まとまりをみせるが、本年も一月の引受事務を終了し、本年度の引受実績がまとまったかたちとなる。

その実績数字は別表に示したが引受頭数では、牛で一、二八〇頭の伸び、馬が七二頭の減で、差引き一、二〇八頭の伸びとなる。

また一戸平均の加入頭数をみると、中標津が二四・一頭、計根別が三一・〇頭、これはいずれも牛だけであるが、それぞれこのような数字となる。

共済加入ほぼまとまる

牛はふえ・馬はへる

本会では、農業共済事業関係者及び農業共済新聞愛読者に、広く欧州及び東南アジア諸国の特色ある農業の実態を、直視把握する機会を提供する目的で「海外農業視察団」を編成派遣して、たいへん好評を得ております。

東南アジア農業視察につきましては、今回が二回目であります。その実施要領も下記の通り決まりましたので、この機会にぜひ多数ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

東京都千代田区一番町19番地  
全国農業共済協会  
海外農業視察事務局

第二回

東南アジア農業視察への

参加ご案内

記

1. 視察地 タイ、マレーシア、シンガポールの3カ国。
2. 日程 昭和48年4月18日出発、24日帰国の7日間。
3. 参加費 177,000円也

【注】次の経費は参加費に含まれていません。

- (1) 集合までと解散後の国内経費。
- (2) 旅券交付印紙代(3,000円)
- (2) 予防注射証明書代(900円)。
- (3) 渡航手続手数料(3,000円)。
- (4) 視察地での個人的な経費。

4. 参加資格 農業共済事業関係者(組合員も含みます)。農業共済新聞愛読者(ご家族も参加できます)。
5. 集合地 東京国際空港(羽田)。
6. 解散地 東京国際空港(羽田)。大阪空港(伊丹)。
7. 募集人員 50名。
8. 申込方法 中標津町農業共済組合へ申込金20,000円をそえてお申込下さい。
9. 申込締切日 昭和48年2月20日。
10. 参加費等の納入 参加費の残額157,000円と渡航手続手数料3,000円との計160,000円を、3月10日までに、中標津町農業共済組合へ払込下さい。

【注】(参加費177,000円-申込金20,000円=157,000円)+渡航手続手数料3,000円=160,000円

11. 渡航説明会 日時(3月初めの予定)、場所(東京、大阪の2カ所)が決り次第おしらせします。なお、説明会では、旅券発給申請願書を作成お渡しします。

第二回東南アジア農業視察行程略図



# 草地酪農研修会に参加しよう

2月9日 AM10:00 中標津体育館

## 酪農畜産の実態と展望

講師に畜大学長迎えて

根室管内草地酪農研修会が来る  
二月九日、中標津体育館で開催さ  
れます。

これは、酪農の基礎をなすとい  
われる草作りについて、その技術  
等を取出し、効率のよい酪農の建  
設に資することを目的とするもの  
で、帯広畜産大学学長の大原久友  
氏を講師に迎えて開催するもの  
です。

時あだかも、酪農を取りまく内  
外情勢が一段ときびしいだけに、  
酪農民自からも一層経営改善に積  
極的に取組まねばならない時代を  
迎えています。

その意味からも、この研修会に  
は、組合員皆さんの多数の参加を  
お願い致します。

なお、開催要領は次のようにな  
っております。

一、目的 本道は我国最大の食糧  
生産基地として期待され  
中でも根室酪農は近年め  
ざましい経営規模の拡大  
進展がみられている。

しかし、経営内容技術  
等については多くの問題  
点を残しているのが実態

でもある。

酪農の基礎を成すのは  
草作りとも言われるが、  
規模拡大に併行した大型  
草地の経営管理技術等を  
取得し、効率のよい安定  
した根室酪農の建設に資  
することを目的とする。

二、主催 根室地区酪農対策協議  
会・ホクレン中標津支所

・北農中央会中標津支所  
・根室生産農業協同組合  
連合会

三、後援 根室管内全農開協同組  
合・根室支庁・道立根釧  
農業試験場

四、期日 昭和四八年二月九日  
午前一〇時～一五時

五、場所 中標津体育館

六、研修内容

(一)、講演 根室地域における酪  
農・畜産の実態とその  
展望

講師 帯広畜産大学 学長  
大原久友氏

内容 一、根室地方の酪農・畜  
産に於ける技術的考察

(1)自然

(2)酪農・畜産

イ 草地

(イ) 草種 (ロ) 管理

利用

ロ 家畜

(イ) 一般栄養 (ロ) 育  
成・繁殖 (イ) 乳

ハ 経営

(イ) 経営規模 (ロ) 公  
共草地

二、根室地方における営  
農の実態とその将来

意見交換会

七、参加対象 管内酪農生産者、  
管内農開協、農業共済組  
合、道農協連各支所、市  
町、農業改良普及所、家  
畜保健衛生所、酪農検査  
所、関係指導機関、酪農  
関係各メーカー、管内農  
業高校生

尚、当日昼食は主催者で用意  
いたします。



### 組合員相談課

担当地区 (農事会)

中標津農協の業務機構の改定  
により、一月一日付で夫々人事  
の発令を行なったが、組合員相  
談課の担当地区が次のように決  
まりましたので御協力願います。

#### 真島 課長

北中、東中、上中、共立、新共  
立、共成、南依橋第1、南依橋  
第2

#### 小薮 係長

当幌、西当幌、協和、拓農、豊  
岡、南共栄、新開陽、南開陽、  
西開陽、北開陽、開陽、東開陽  
西武佐

#### 沢田 係長

西中、東俣落、東共栄、共栄、  
西共栄、南俣落、俣落、北俣落  
本俣落、新生、光、北進、北光  
西竹、郡馬、高嶺

#### 横山 係長

南中、依中、依橋、依橋高台、  
東武佐、北武佐、南武佐、旭ヶ  
丘、中標津第1、中標津第2、  
東依橋



## 昭和47年度生乳生産者 多量出荷順位表

(47年1月~12月) (133トン以上)

順位	農事会名	氏名	乳量
1	高嶺	竹下日吉	331,454
2	北進	佐伯 柁次	233,057
3	群馬	佐藤 載康	227,116
4	南俣落	鷺見孝男	189,981
5	開陽	中本 栄太郎	188,844
6	協和	古沢 亀治	188,768
7	北開陽	玉沢 正春	188,506
8	俣落	松本 勇	186,703
9	俣落	阿部 幸一	177,071
10	当幌	鈴木 吉三	171,036
11	当幌	奥田 勝佳	169,642
12	北武佐	安達 武蔵	161,118
13	豊岡	佐藤 道嘉	160,858
14	当幌	山川 健三	159,924
15	西当幌	安田 康正	159,732
16	豊岡	佐藤 末美	155,832
17	北進	川村 清身	154,066
18	西当幌	竹村 満夫	153,340
19	高嶺	横田 国雄	151,361
20	南依橋	加茂 正毅	146,160
21	東開陽	高平 幸夫	145,573
22	共栄	斉藤 富吉	143,182
23	本俣	藤井 弘美	141,039
24	南開陽	山崎 正喜	137,714
25	北中	桜井 精治	137,374
26	西武佐	藤原 勝一	136,733
27	豊岡	岡部 実	136,168
28	豊岡	渡辺 善男	135,243
29	南依橋	福島 信一	135,181
30	新開陽	鈴木 敏夫	133,099

## 酪農家に失業保険

熊でもあるまいに、夏だけ働いて冬は寝ていればよいと考える人はいいでしょう。

別表の乳量の生産高をみると、冬期間(11月~4月半年間)は牧草の管理収穫作業もないのに、年間の三分の一しか搾乳していません。

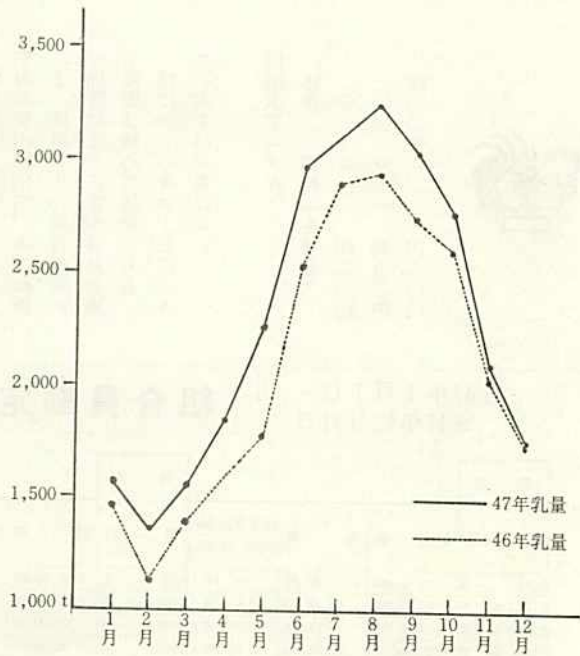
酪農家の皆さんは冬も休みがないとよくいいますが、考えてみると七割以上も失業しているのではないのでしょうか。

乳牛は冬の間仔牛を寒さから守

るために、脂肪の多い高栄養の乳をたくさん出すように出来ていません。それを上手に搾るのが酪農家の失業保険だと思います。

それには乳牛の身になって、手を抜かない管理と良質な粗飼料を充分給与し続けること、配合飼料の適切な与え方にあると思います。普及員や上手な酪農家の方々と相談して、冬乳の生産を高めましょう。

保険料を納めないで失業保険はもらえません。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
45年乳量	1,169	981	1,081	1,252	1,643	2,291	2,441	2,544	2,446	2,368	1,864	1,556	21,636
46年乳量	1,407	1,179	1,355	1,623	1,883	2,559	2,820	2,896	2,776	2,628	2,037	1,753	25,277
前年比	120	120	125	129	114	113	115	113	113	111	109	113	117
47年乳量	1,555	1,335	1,534	1,849	2,252	2,948	3,107	3,238	3,021	2,806	2,132	1,780	27,555
前年比	111	113	113	114	120	115	110	112	109	107	105	102	109
根管内前年比	111	113	109	112	119	113	111	112	110	109	107	105	

# 給油所の営業時間変更

世界的な暖冬異変はこの地帯も例外ではなく、過しやすいというものの、なんとなく薄気味悪くもあり、又肝心な夏期の天候はとうなることやらと、取越苦労もしたくなる今日この頃である。

さて農協給油所も開設以来二年教ヶ月組合員の系統利用と、員外利用者の漸増により計画を上廻る実績をあげており、大変喜ばしいことです。

ところで給油所の営業時間を色々検討して見ましたが、午前九時前と午後五時以降の利用者は極めて少ないので一応「三月三十一日迄」

次の通り営業時間を変更しました。

記

営業開始 午前九時  
閉 店 午前五時

高配達も午後五時迄に終るよう早めにお申込下さい。

## 畜肉情報

### 枝肉市況 東京市場

牛、枝肉相場は例年のパターンと、九月をピークに、十二月をのぞいて落ち込むのが普通であるが、昨年は尻上りの高騰をたどり、前年対比二五〇〜三〇〇%の著しい上昇を示した。

しかし、底堅い相場は、年が改たまって、一こうに衰えをみせず堅調に推移している。

今年も牛肉相場は公害、元牛原価、飼料の値上げなど、昨年以上の相場が予想される。

### 中標津相場

#### A 初生牝

体重 価格  
四〇キロ 三〇〇円  
四五キロ 三五〇円  
五〇キロ 四〇〇円

枝 一キロ当り三二〇円

#### B 廃用牛

輸入牛肉の品不足により高い価格で推移しており、特にガリ特と中バ物の格差がない

品質 価格(枝キロ当り)  
並 五七〇〜六〇〇円  
中 六〇〇〜六七〇円  
上 六七〇〜七五〇円



2/8 ~ 9日

★決算前  
衣類品在庫一掃  
★大見切り★

ところ農協会議室 中標津農協ストアー

## 組合員勘定取引実債

S47年1月1日~  
S47年12月31日

借 方				貸 方				
項 目	計 画	実 績	対前年増減率%	項 目	計 画	実 績	対前年増減率%	
50労 賃	23,667,000	24,391,700	1.0	103.1	01生 乳	1,095,463,000	1,162,322,559	51.6
51肥 料 費	163,957,000	177,361,122	7.4	108.2	02補 給 金	147,789,000	169,680,959	7.6
52生産資材費	104,015,000	145,190,786	6.0	139.6	03肉 牛	102,978,000	75,665,239	3.9
53飼 料 費	271,694,000	279,507,004	11.6	102.9	04牝 牛	42,616,000	35,784,841	1.6
54養 畜 費	84,957,000	83,232,188	3.5	97.9	05 豚	2,886,000	2,128,250	1.1
55賃 料 金	66,652,000	53,851,644	2.2	80.8	06その他畜産物	12,300,000	7,909,160	0.4
56支 払 利息	124,656,000	137,879,594	5.7	110.6	畜産収入計	1,404,062,000	1,453,491,008	65.2
57租 税 公 課	65,388,000	68,659,326	2.9	105.0	10て 人 業	23,878,000	29,367,729	1.3
58その他経営費	130,894,000	176,159,781	7.3	134.6	11馬 鈴 業	251,709,000	252,154,359	10.7
経営支出計	1,035,897,000	1,146,233,145	47.6	110.7	12け い 服	0	0	0.0
50家計計 量	278,816,000	271,553,901	11.3	97.4	13その他畜産物	11,614,000	7,426,576	0.3
70資金返済	282,233,000	227,441,216	9.5	80.6	20農産収入計	287,201,000	288,848,662	12.3
71共 済 掛 金	34,255,000	33,702,385	1.4	98.4	20農外収入	18,705,000	18,391,910	0.8
72農 業 機 械	53,729,000	106,875,808	4.4	197.1	21資金借入	54,110,000	100,292,594	4.5
73貯 金	237,761,000	265,733,295	11.0	110.9	22資金原入	153,231,000	212,938,746	9.5
74その他支出	82,088,000	355,531,326	14.8	433.1	23その他収入	18,052,000	173,162,445	7.7
合 計	2,004,779,000	2,404,071,046	100.0	119.9	合 計	1,935,361,000	2,247,125,365	100.0
	内現金	427,144,451				内現金	151,432,774	

昭和四十七年度の組合員勘定取引を零からはじまり零に終ることに普及指導をいたしました。残念ながら二優七百万円余の貸しこし残高で年し越しとなりました。新年度は組合員は自から経営者として抑制し取引供給適正化に努めるようお願いいたします。

残 高

借 方	貸 方
207,403,545	50,457,864